

# 島田市のご利益スポットを連携・周遊させる 手法のブラッシュアップ・改善提案

静岡県立大学 大久保あかね観光研究室

指導教員：大久保あかね

参加学生：小倉彩葵子、藤原将匡、川合佑司  
仲野優聖、法月大悟

## 1 要約

島田市にあるご利益ルートへの周知を図ることを目的に、広報活動の一環として合格弁当の製作を企画した。合格弁当の考案にあたり、ご利益スポットのフィールド調査や島田市内の高校生及び大学生へのアンケート、地元JA大井川女性部への取材を実施した。8種類の献立を考案しレシピカードを作成するとともに、株式会社天神屋と協働して合格メニューを開発。また合格メニュー販売時には、ご利益スポットの一つであるすべらず地蔵尊で祈祷いただいたお守りを付属する仕掛けも行った。それらにより、ご利益スポットの認知度向上と経済効果のきっかけに結び付けた。

## 2 研究の目的

本年度は、昨年度に実施した「島田市ご利益スポット」の広報活動の効果測定を行うとともに、さらなる認知度向上を目的に集客を図るための取り組みとして、「ご利益」の中でも受験生の合格祈願に絞り、「合格弁当」を開発することとした。そして昨年の課題となった島田市ご利益スポットでの「集客」を「経済効果」につなげるため、食材の消費を期待できる合格メニューのレシピカードを作成・配布するとともに、SNSにて「#合格弁当」を用いて情報拡散をしていくことで、市民参加できる広報活動を行う。

合格弁当の認知度が上昇することによって、興味を持った観光客が増加して地域への交流機会が増え、島田市のさらなる活性化につながることを期待する。

## 3 研究の内容

今回の提案に向けて、以下のように6回の会議、5回のフィールドワークと合格メニューの試作、4つのアンケートを実施した。

### ■会議

- 8月22日 【島田市役所での会議及びフィールドワークの報告】
- 9月15日 【島田市の食文化や具体的計画についてのweb会議】
- 10月7日 【JA おおいがわでの地域の伝統食に関する取材】
- 12月6日 【現在の進捗と今後の動きについてのweb会議】
- 12月16日 【静岡県立大学での天神屋を交えた合格メニューについての会議】
- 1月16日 【静岡県立大学での合格弁当試食および広報活動についての会議】

### ■フィールドワークと合格メニュー試作

- 8月8日 島田市各スポットの視察
- 11月7日 【合格メニュー試作①】
- 11月14日 【合格メニュー試作②】
- 12月1日 【合格メニュー試作③】



写真 1.フィールドワーク風景

- 1月27日【島田市のご利益スポットでお守りの祈願巡礼・合格弁当の確定】

#### ■アンケート

- 8月～【中学生、高校生、中学生・高校生の保護者向けアンケート作成】
- 10月中旬～10月31日【中学生、中学生保護者向けアンケート配布・回収及び分析】
- 10月上旬～11月11日【高校生、その保護者向けアンケート配布・回収及び分析】
- 11月上旬～12月7日【大学生向けアンケート作成、配布・回収及び分析】

## 4 研究成果

### (1) 当初の計画

事業開始時のスケジュールは以下のように想定した。

- ～9月 調査①市内高校・県内大学生に受験時にご利益（自身の支えになった？）  
経験に関する調査
- 調査②島田市内利益スポットの視察（ご利益弁当・メニューのアイデア出し）  
お弁当の「合格メニュー」の試作→#合格弁当、#合格メニュー
- ～11月 島田市内レストラン・スーパー等への協力依頼
- ～12月 合格メニュー・合格弁当（おかず）の試作
- ～1月 受験に向けた合格メニュー・合格弁当の販売

### (2) 実際の内容（A 予定通り、B 一部修正、C 新規、D 中止）

#### ■各種調査・・・A

調査① 島田市内の高校生とその保護者 324 名にアンケートを実施。

調査② 島田市内のご利益スポット大井川鐵道合格駅、すべらず地藏尊等を視察。

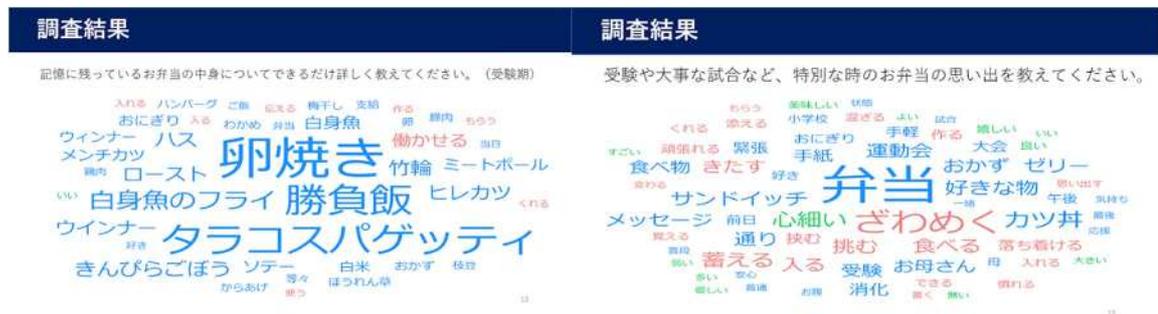


図 1. 受験時のお弁当でうれしかったおかず

図 2. 特別な日のお弁当の思い出

当初予定していた調査に関しては、おおむね計画通り進めることができた。受験時や、大事な試合などの特別な日のお弁当の思い出に関しては、学生（子供）と保護者（親）からそれぞれほほえましいコメントが集まり、お弁当の重要性を改めて確認できた。

#### ■合格弁当の考案・試作・・・B

弁当から合格メニュー（おかず単品）へ変更した（図 3）。詳細は、研究成果に示す。



図 3. アンケート・取材をもとに考案したご利益を感じるおかず

■島田市内レストラン・スーパー等への協力依頼・・・B

計画当初から、考案したメニューの製造協力先を探していたもののメニュー考案に時間がかかり、協力先が見つからないまま11月になってしまった。しかしながら、12月に株式会社天神屋に交渉する機会ができ、商品化の方向性を見出した。詳細は、研究成果に示す。

■受験に向けた合格メニュー・合格弁当の販売・・・B

株式会社天神屋の店頭で、合格メニュー、合格むすび（仮称）を2月に販売できることになった。詳細は研究成果に示す。

■合格メニューのレシピカードの作成・・・D

合格弁当からメニュー（おかず）に変更した際に、考案したメニューをスーパーなどで配布されているレシピカードとして配布することに計画を変更した。

■合格守りの作成と配布・・・D

上記、合格むすび（仮称）の販売時に、合格守り（ご利益守り）をつけることが会議で決まった。詳細は研究成果に示す。

(3)実際の研究成果

本研究の成果の中から、「レシピカード作成」、「天神屋との合同メニュー開発」、「お守り」の3点について紹介する。

I, レシピカード作成

アンケートの内容及び、JA大井川女性部へのヒアリングをもとに、島田市内で生産される食材を使った、ご利益を感じられるストーリーを8種類考案し、試作した。これらの作り方をレシピ化するとともに、スーパーなどの店頭で置かれているレシピカードを想定して、受験生応援メニューレシピカードを以下の構成で作成した。

- ・表面：料理写真+レシピ、レシピのご利益ストーリーを印刷する
- ・裏面：8種類のうち、奇数メニューにはご利益ルートフライヤーの合格スポットの写真、偶数メニューにはご利益スポットの地図を印刷する



図4.レシピカード表、裏（奇数メニュー・偶数メニュー）

II, 天神屋との協働メニュー開発

12月に島田市役所に仲介いただき、株式会社天神屋経営企画部、広報室の皆さんに、私たちが取り組んできた合格メニュー開発のプロジェクトの説明をする機会を得、コンセプトに合わせた合格メニュー・合格弁当を共同で開発することとなった。

その際に1月中旬を目途に、大学側で広報手段としてのお守り作り、天神屋側で商品化案を提示することとなり1月16日には試食会を実施した。



写真2.試食会後の記念写真

### Ⅲ、合格守り・ご利益守り

12月の会議で受験生向けにお守りを制作し、天神屋店頭にて共同開発したメニューとともに配布するというアイデアが生まれ、ご利益ルートの広報を兼ねたお守りを受験生やそのご家庭に配布することとなった。お守りには秋田県産のブランド米「サキホコレ（桜咲く→合格を連想）」を、すべらず地蔵尊でご祈祷いただき、ほかの2地蔵尊も周遊することで、ご利益を授けることとした。またその写真・動画を撮影し、その映像をご利益スポット周知のためのプロモーションに活用する。

#### (4) 今後の改善点や対策

スケジュールがうまく調整できず、給食での合格メニューを実現できず、来年度に向けた提案に変更した。今後は提案先の進行状況を把握して、余裕を持った計画に取り組みたい。12月に計画が急展開し、商品化に結び付けることができたが、今後も様々な視点で島田市のご利益スポットを身近に感じ、ご利益を感じる人々を増やしていきたい。

## 5 地域への提言

### ・ご利益ルートの周知

昨年度の効果測定の結果から、チラシやポスターの配布・掲示のみでは実際のご利益スポットの訪問へとつながりにくいことが分かった。そのため、本年度は合格弁当の販売とお守りの配布、そしてレシピカードの設置で、ご利益スポットの認知と実際の訪問へとつなげることを期待する。

### ・受験期の宣伝

受験期にご利益スポットや各地の商業施設など、市全体が受験生を応援しながら宣伝することで、島田市が取り組む、合格祈願をきっかけにした来訪先としての認知獲得、また観光交流客の獲得につなげられるのではと考える。

### ・ご利益スポットの体制整備

島田市の3地蔵尊等のご利益スポットには、受験生が実際にご利益スポットを周遊したくなるような整備、仕掛けが必要と考える。具体的には、お参りにきた受験生にご利益スポットでしかももらえないお守りを渡すことなどを提案したい。

### ・効果測定

今回行う合格弁当の販売やお守り、レシピカードによってどのような効果が実際に得られたのかについて、特に学生やその保護者を対象に効果測定を継続的に行う。合格弁当やお守りは、ご利益スポットの宣伝に加えて地域の経済効果につながることを期待できる。ただ実際にどのように効果があったのかを継続的に確認することが重要だと考える。

最後に、島田市観光課の皆様、学校給食課の皆様、天神屋の皆様、JA おおいがわの皆様、KADODE OOIGAWA、島田市教育委員会の皆様、生徒と保護者の皆様を始めとする、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

## 6 地域からの評価

昨年度より引き続き、島田市のご利益スポットに関して取り組みいただき感謝申し上げます。まず、今回の研究目的として、昨年度取り組みの効果検証および地域経済へのアプローチの検討・試行は、非常に難易度の高いものであったと認識している。

その中で、今回のレシピカード制作、天神屋の多大なるご協力のもと行った商品開発、またメニュー考案に留まらずさらなる認知獲得につながる仕掛けは特に、新たな客層にもリーチできる可能性や地域経済にもつながるきっかけづくりになったと考えられる。また、認知度等の変化も一般的に、継続的に調査を行い中長期的視点で見えていくことが重要なため、引き続き連携を図りながら展開していきたい。